

# 丸森地区河川防災ステーション登録伝達・確認書調印式

## 次 第

令和3年5月12日（水）10:30～11:30  
丸森町役場 3F 302会議室

1. 開 会
2. 出席者の紹介
3. 河川防災ステーション登録伝達式（東北地方整備局長・丸森町長）
4. 確認書調印式（東北地方整備局仙台河川国道事務所長・丸森町長）
5. 事業計画概要説明  
丸森地区河川防災ステーションについて  
（東北地方整備局仙台河川国道事務所・丸森町）
6. 記念撮影
7. 閉 会

# 丸森地区河川防災ステーション登録伝達・確認書調印式

## 出席者名簿

氏 名	所 属 ・ 役 職 等
保科 郷雄	丸森町長
佐々木 秀之	丸森町 副町長
大内 一郎	丸森町 総務課長
八巻 一浩	丸森町 建設課長
日下 健	丸森町 復興対策室長
梅野 修一	国土交通省 東北地方整備局長
中尾 吉宏	国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所長
水越 崇	国土交通省 東北地方整備局 宮城南部復興事務所長

# 丸森地区河川防災ステーション 登録伝達・確認書調印式

## 事業計画概要

令和3年5月12日



丸森町



国土交通省 東北地方整備局

1. 河川防災ステーションとは
2. 承認までの流れ
3. 令和元年東日本台風による被災の状況
4. 丸森地区河川防災ステーションの整備概要

# 河川防災ステーションの役割

- 洪水時に河川管理者が行う災害復旧活動の拠点として整備するもので、大半は市町村が行う水防活動の拠点（水防センター）を併設しています。
- 土砂やブロックなどの緊急用資材を備蓄しておくほか、ヘリポートや災害対策車両の待機場所なども確保しています。
- 平常時には地域の人々のレクリエーションの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用が期待される施設です。

## <災害時>

- 被災箇所の復旧工事のための材料備蓄
- 排水ポンプ車など災害対策車両、防災ヘリの拠点
- 水防活動の拠点（水防団）



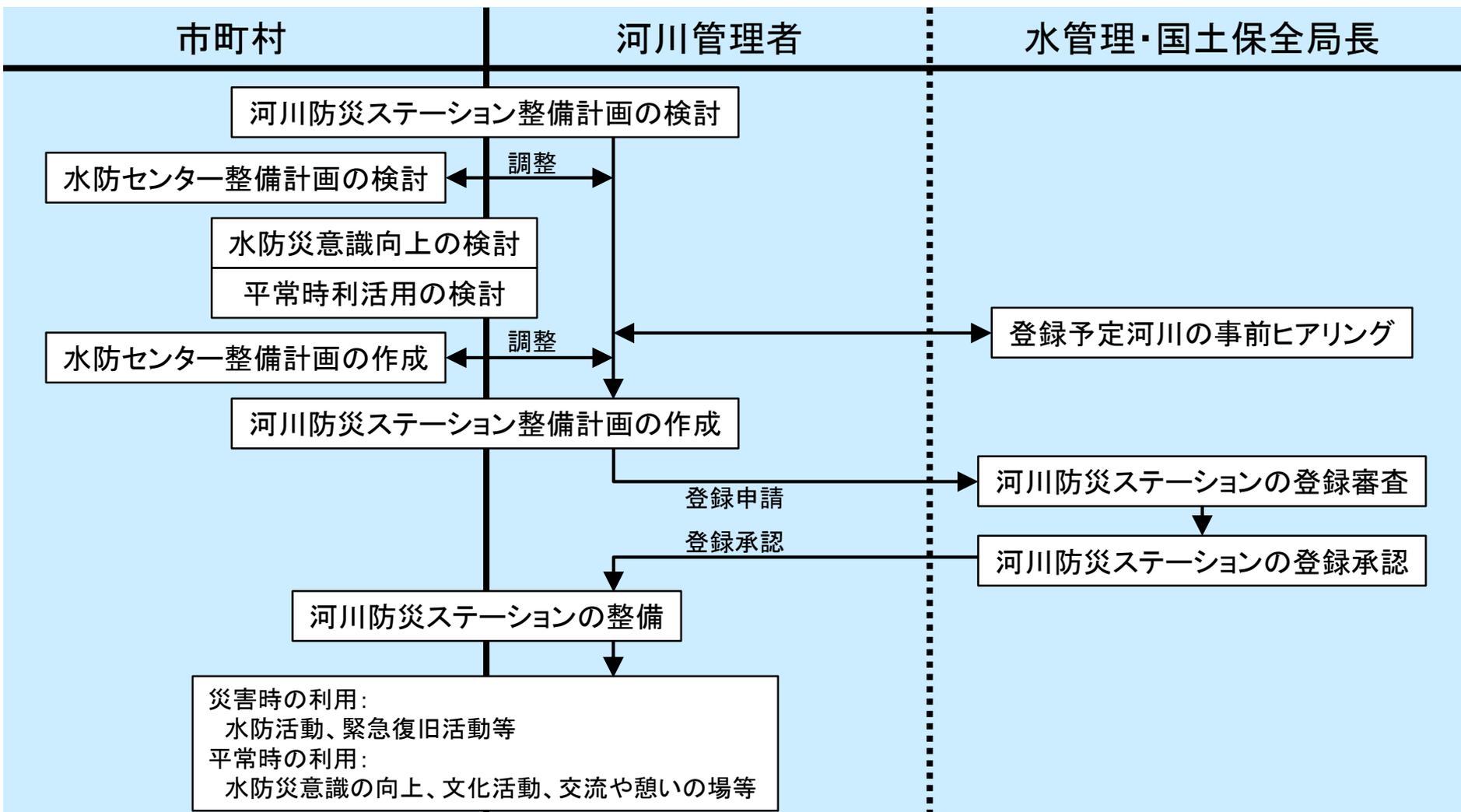
## <平常時>

- 地域のコミュニティースペースとして活用
- 水防活動の訓練などに利用
- 防災学習の場や川の情報発信拠点



# 河川防災ステーションの整備手順

- 洪水時の水防活動及び緊急復旧活動の拠点として整備されるものであり、設置位置、規模、事業効果、その他必要事項を記入した整備計画を作成
- 水管理・国土保全局長が承認。
- 河川管理者と水防管理者（市町村長）が一体となって整備する施設





**○令和元年10月12～13日 令和元年東日本台風**

**○令和2年6月17日 丸森町復旧・復興計画 決定**

○令和2年7月下旬 東北地方整備局への整備要望

○令和2年8月上旬 水管理・国土保全局への整備要望

**○令和3年2月 1日 河川防災ステーション申請（整備局長、丸森町長）**

**○令和3年3月19日 丸森地区河川防災ステーション 承認**

**○令和3年5月12日 登録伝達・確認書調印式**

# 令和元年東日本台風による阿武隈川下流の状況

(3. 令和元年東日本台風)





**阿武隈川下流 直轄河川大規模災害関連事業**  
 全体事業費 約86億円  
 河道掘削 約70万m<sup>3</sup> 事業期間 令和元年度～令和6年度

- 凡 例
- : 浸水範囲
  - : 復旧箇所
  - : 堤防決壊箇所 (県管理)
  - : 改良箇所
  - ✕ : 河川一般災の位置
  - ✕ : 大臣管理区間

## 阿武隈川下流 直轄河川災害復旧事業

全体事業費 約12億円  
 漏水対策 9箇所 事業期間 令和元年度から令和2年度



# 丸森地区河川防災ステーションの整備計画

## ■ 整備の主体

【国】 河道掘削土を活用した、河川防災ステーションを整備。

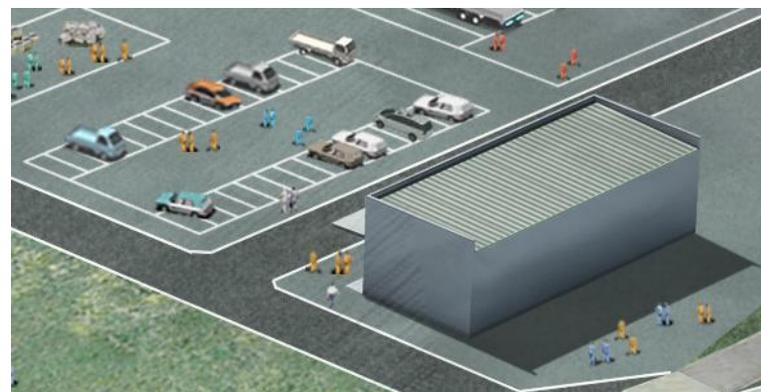
【町】 水防センターを整備。

## ■ 整備の効果

○ 治水安全度の向上とあわせ、防災機能を強化。

○ 浸水被害時における 町役場代替機能等や、周辺住民の緊急避難場所としても活用。

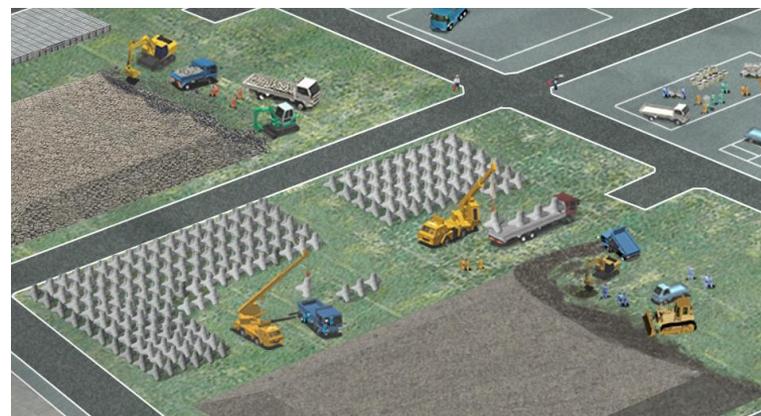




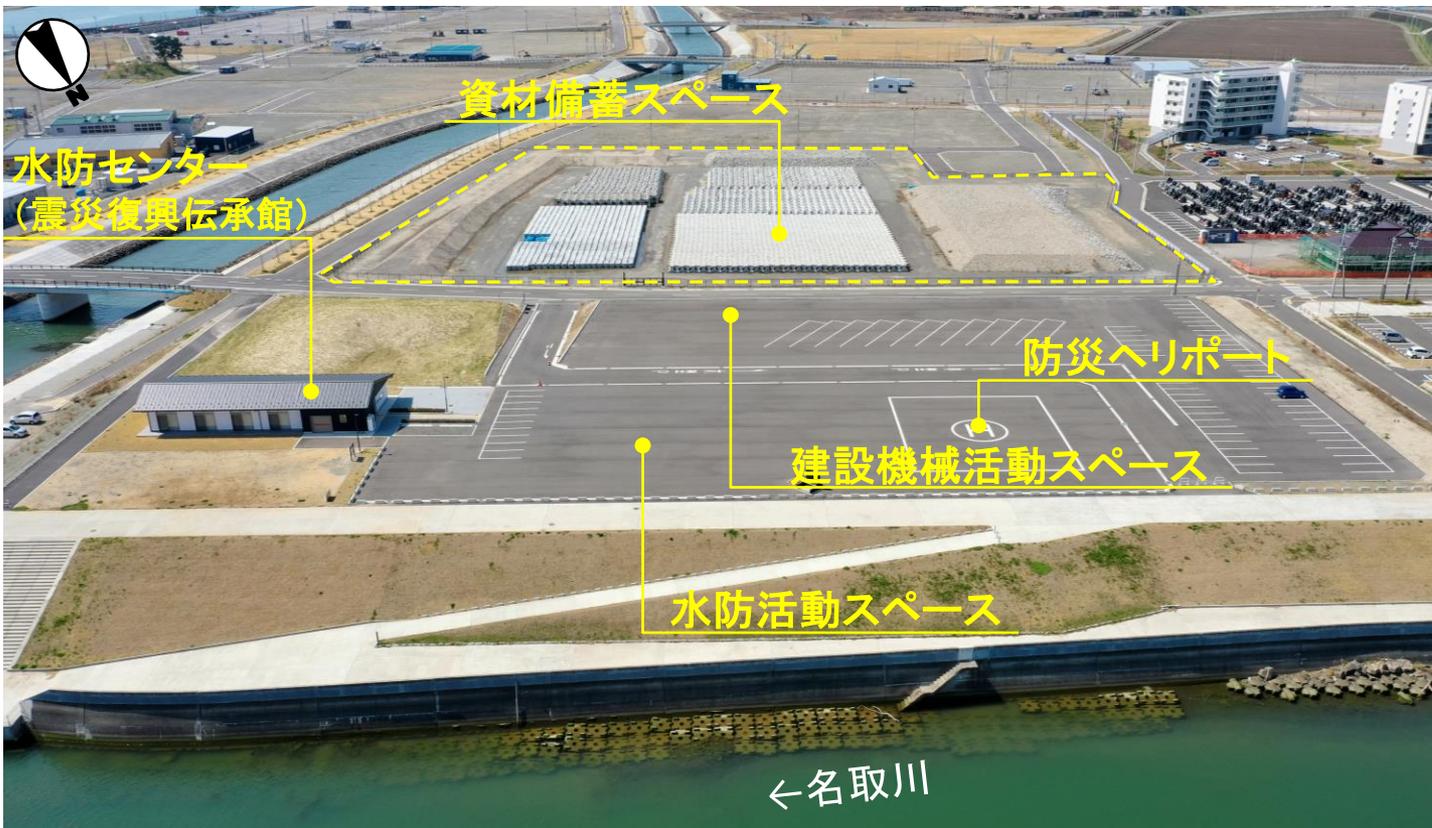
水防活動の拠点 (水防センター)



ヘリポートや緊急車両の待機場



災害復旧活動の拠点



## 資材の備蓄状況

岩ズリ



根固めブロック



連節ブロック



## 水防センター



▲ 震災復興伝承館（水防センター）



▲ コミュニティスペース  
（震災以前の開上の街のジオラマ・マップ等）



▲ シアタールーム  
（津波被害、復興の歩みを紹介したパネル・モニター等）

※名取市震災復興伝承館HPより転写



堤防決壊による浸水の状況



丸森町内 内水被害の状況



土砂災害（五福谷川等）



堤防決壊（内川等）



丸森町内 内水被害の状況



○復旧・復興期間を 令和6年度 までとし、集中的に復旧・復興を行っていく。

○計画期間内に、大規模災害に備え、役場庁舎の防災機能を代替できる拠点の整備を進める

## 2. 安全・安心の拠点形成プロジェクト

町防災計画の見直しを行い、迅速に災害対応ができる体制を整備するとともに、防災訓練や防災講話等により防災意識の普及を図り、町、防災関係機関、住民や自主防災組織等がそれぞれ連携して、確実に行動できる体制を構築します。

災害対応の主要拠点となる役場については、雨水ポンプ施設の増強等による内水氾濫への対応や治水対策を実施し、被害を抑制することにより、防災拠点としての機能を確保します。

また、大規模災害に備え、防災機能を代替できる拠点及び消防や警察、自衛隊等の町外からの広域的な応援や様々な支援物資の受け入れなどの調整業務を担う後方支援拠点等の整備についても、今後検討を進めてまいります。

これらの取組により、防災体制の強化を図りながら、国民健康保険丸森病院を中心とした医療提供体制の充実や、役場周辺への町営住宅の再建などにより、いざというときに安心して身を寄せることができる拠点の形成を推進します。



主な取組	具体的な手法等	復旧・復興期間					以降 R7～	実施主体
		R2	R3	R4	R5	R6		
代替防災拠点等の検討	先進事例等の情報収集、候補地を含む整備方針の整理、関係機関との調整等							町（総務課、全庁）

関連する主な取組：防災体制の強化（総務課）、地域医療体制の整備（丸森病院）、内水氾濫対策、災害公営住宅整備（建設課）など ※いずれも再掲

## ■水防センターの役割効果【整備主体：丸森町】

- 洪水時の水防団の活動場所及び待機場所
- 浸水被害時における町役場の代替え機能等や周辺住民の緊急避難場所
- 平常時には、自然レクリエーション、町民の交流拠点や防災学習の場としても活用

### 自然レクリエーション



▼全日本石投げ選手権大会



▲舟下りとリバーアクティビティ

イベントの開催場所や水面利用者等の集合場所・駐車場として活用

### 町民の交流拠点



イメージ

▲会議室の利用

地域行事、交流の場として水防センター内を解放

▼サイクリングの拠点



サイクルフェスタ丸森2019

### 防災学習



イメージ

▲防災学習(展示パネル)

水防センターを利用し、水防活動や防災、洪水の被災状況に関するパネル展示

水防学習や自治体訓練、子供たちの防災学習の場として利用

▼水防訓練



### ドクターヘリ



搬送時間の大幅短縮により、救命率向上や後遺症軽減の効果が期待



### 阿武隈川ライン下り



- 江戸時代からの舟運のなごりを今に伝える「阿武隈ライン舟下り」
- 昭和39年からスタート。今年で56年目を迎える。

### 全日本石投げ選手権大会



イベントの開催場所の集合場所・駐車場として防ステを活用

### 阿武隈川清掃美化運動



清掃活動の集合場所・駐車場として防ステを活用